



八中だより



第16号

令和7年12月25日

府中市立

府中第八中学校

『プラン通りいかないときこそ本領発揮』（終業式の話）
校長 高汐 康浩

衝撃的で忘れられない思い出の一つを紹介したいと思う。二〇〇四年当時は、アルゼンチンのブエノスアイレスに住んでいた。八月にブラジルのマナウスからアマゾン川の上流方面への旅行を計画した。できるだけ旅行費用を抑えたいので、使う交通機関やルート工夫した。結果的に、ブエノスアイレスから船でウルグアイのモンテビデオに渡り、モンテビデオから飛行機でサンパウロとブラジリアを経由してマナウスに向かうことにした。マナウスまでの直行便を使えば五時間位で到着できるところを三十時間位かけた。おかげで、運賃は三分の一以下にすることができた。（航空運賃は直行便より經由便の方が安くなることもある）

モンテビデオ空港からサンパウロに向かう途中でまずはじめの事件が起きた。空港でのチェックインで嫌な予感を感じていた。航空券を提示したらカウンターのスタッフは何やらひそひそ話をしたからだ。気になった私はスタッフに、「フライトは定刻通りか？」と尋ねたら「はい」とは言わずに「問題ない（多くの場合、自分にとって問題ない場合に使う）」と答えた。ますます不安が募った。搭乗の案内があり飛行機に乗り無事飛び立った。安心も束の間、上空でフライトが安定したときに機長が客室に出てきた。「この飛行機の乗客の半数はサンパウロに行きたい人たち、半数はリオデジャネイロに行きたい人たちだ。乗客の皆さんに聞きたい。どちらに向かえばいいか？いきなりこの言葉に機内は騒然として、機長に詰め寄って抗議する人、感情的になつて大声をあげている人、頭を抱えて困っている人などさまざまだった。結局、このフライトはリオデジャネイロに行くことになった。リオデジャネイロの空港に到着し、私は、誰よりも先に乗り継ぎ力ウンターに走った。そうしないと、相当待たされるのが予想できたからである。カウンターの乗継便の手配と、それよりも心配な預けた荷物の行方を確認した。乗継便に関しては、到着当日はどの便も満席



（在籍生徒数） 一学年250名、二学年218名、三学年245名
 全校生徒数713名
 〈学校住所・電話番号〉
 〒182-0035 府中市四谷一丁目二八二七
 電話 〇四二(三六四)一八八一
 ★府中市教育センターの職員の方から、学校だよりを差し込みしていますというメッセージをいただきました。感謝！

であった。しかたなく次の日の便にしてもらい、当日の宿泊の手配も航空会社が宿泊費を支払うことで予約してもらった。荷物の所在についてはこれもまた「問題ない」の一言であり、その所在は不明であった。このことが次の事件だ。その日からしばらく着替えも、身支度のもものもなく手ぶら生活になったのだ。何とか、一日遅れでマナウスに到着し、マナウスからアマゾンの奥地に向かう船に乗り込んだ。皆さんがこのフライトに乗りあわせていたら、どのような気持ちになつて、どのような行動を起こすだろうか。また、自分の荷物の行方がわからなくなつたらどうするだろうか。フライト中に私が考えたこの第一番目は、「プラン通りいかないときに、」どのような次の行動がベストか」ということである。その結果は「誰よりも先にカウンターの行つて相談することと荷物がなくなる可能性があるの」とりあえず必要な物品を買うことであつた。その後は不自由なことはたくさんあつたが、何とか旅行を継続できた。行方不明になつた私の荷物はマナウスの奥地での滞在の最終日に手元に届いたのには驚かされた。

3年生の生徒の皆さんは、まさに自分の進路についてプランを立ててその実現に向けて取り組んでいる。自分のプラン通りに百パーセントうまくいくことはないと考えた方がよい。その都度、悩んだり困ったりするのだが、そのときこそ、これまでに身に着けたさまざまな力を発揮するときだ。そして、その力をさらにパワーアップさせる恰好のチャンスだ。肝心なことは、決してやり過ぎずことをしないこと、そのときの状況をできれば自分で見極め（もちろん大人にアドバイスを求めてもよい）、先を見て行動することである。うまくいかないときこそ「活（い）きる力（レジリエンス）」が身につくのだ。繰り返しになるが、八中生の皆さんには、これからも困難な場面こそ発揮できる本領を日常の活動の中で確かにしてほしいと強く願う。



アマゾン川でのヒラニアに襲われながらの水浴び

おたのしみ

対話 発見 授業のようす 決定 表現



活躍する八中生

【敬称略】

★女府中市小・中学生人権作文発表会★
題名「困いのない世界に」についての作文を発表
二年六組 嶋田 沙那



★卓球部★

第66回 府中市市民スポーツ大会秋季大会
学校対抗女子の部 優勝 藤本 ゆずな 細井 優莉 畔上 夏実

少年の部 男子 優勝 府中市立府中第八中学校 A
利根川 花奈 松浦 優那

少年の部 女子 優勝 府中市立府中第八中学校 A
小川 歩優樹 中山 和飛 谷本 雅弥 中村 薫

少年の部 女子 準優勝 府中市立府中第八中学校 B
嶺川 恵美 中 美那 濱田 千晴 大島 心

第46回 多摩地区中学校秋季卓球大会
深澤 しより 西野 知紗登 潮実花 善元 明花里

女子団体戦 準優勝 府中市立府中第八中学校
嶺川 恵美 中 美那 濱田 千晴 深澤 しより

第66回 府中市市民スポーツ大会秋季大会
優勝 府中ボバイヤ 上岡 幸永 清水 陽介 小松原 蒼大

大槻 颯也 井上 龍陽 永澤 誠那斗 加藤 新

※学校外でのスポーツ活動、文化活動等における生徒の活躍について学校だよりで紹介いたしますので、受賞等があった場合は学級担任にご連絡ください。

十二月九日の3年生の家庭（鳴川主任教諭）の授業では、『幼児とのよりよい関わり方について考えながら、幼児が楽しめる遊びの工夫』をテーマにたくさんの「対話」をおして新たな遊びを開発しました。生徒たちは豊かな「表現」力を十分に発揮しました。



思春期は、心身ともに大きく成長する時期だからこそ、悩みをもつことがあります。悩みを抱えてしまっているときに、相談できる相談窓口はたくさんありますので、『安心♡』してください。まず、相談しよう。相談するとうなるの？』『保護者向け相談窓口一覧』と『TOKYOほっとメッセージチャンネル』を紹介いたしますので、活用してください。下の二次元コードから、またはURLをクリックすることでアクセスできます。



<https://www.fuchu-tokyo.ed.jp/fuchu08c/02gaiyou/15108533456459d8e4a01a420230509142348.html>

<https://ijime.metro.tokyo.lg.jp/message/>

Topics 八中のテーマ 想いを繋ぐ八中

《保護者の皆様、地域の皆様へ》
今学期も教育活動へのご支援、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。あわせまして、「八中だより」への感想も多数いただき、重ねてお礼を申し上げます。さて、今学期も、保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様とともに、教育活動や学校行事など行ってまいりました。さまざまな場面でご支援、ご協力をいただいたことに心から感謝申し上げます。来学期も皆さんと手と手をしっかりと結び合って、より充実した教育活動を行ってまいります。今後ともよろしくお願いたします。明日から冬休みです。各家庭におかれましては、ぜひ、お子様とともに今学期を振り返る中で、学校生活における出来事などについて、お子様からできるだけの話を聞いていただければと思います。そして、何かお子様について心配なことがあれば、いつでも、どんなことでも学校に御相談くださいますようお願いいたします。

□ 第八十五回生徒会リーダー研修会に参加！（十二月十三日）
「思いを重ねて動き出す、つながる、つくる、かえる」をテーマに協議しました。参加した生徒会役員の方々に、この活動で学んだことについてインタビューをしました。

★和田 裕樹 会長
「他校の皆さんとの話し合いで、空き教室の活用、服装自由など、自分たちでは思いつかない個性的なアイデアに触れるなど多くの学びがありました。」

★鈴木 えま 副会長
「自分たちの見えていない世界があるなど、視野を広げたり関わりを広げたりする貴重な機会になりました。そして、研修会を楽しむことができました。」

★佐野 日勇 役員
「はじめての研修会で、とても緊張しましたが、ゲームによる関係づくりなどをおして、緊張もほぐれ、他の中学校から多くのことを学ぶことができました。」

★齋藤 混 役員
「八中では行っていない皆さんの取組を知ることができました。よい意味で、今後の活動に取り入れて、今後の活性化に生かしていきたいと思えます。」

★小谷 美空 副会長
「八中のきまりなどを意識しながら話し合いに参加しました。過ごしやすい学校、通いやすい学校とはどのような学校なのかを考えることができました。服装自由デーなどは参考になりました。」

★松山 空愛 役員
「他校の取組の工夫などから、いろんな見方やさまざまな考え方に触れることができました。そして、活動上の悩みの共有からも多くのことを学びました。」

★鈴木 淳斗 役員
「他校での学習室を活用した取組など参考になる事例に触れるなど学びの多い研修会でした。他校の皆さんと悩みを共有することがよい機会になりました。」

◇ 小学生の皆さんを招いて
青少年の主権の『風作り、風あげ実施』（十二月五日）
事前に、中学生の皆さんが風作りを小学生の皆さんに教えるために、風の作り方を地域の方から学びました。風あげ当日には、参加した小学生の皆さんにやさしく丁寧な風の作り方を教えました。その後、皆で楽しく風あげを行いました。

